

《拓の会ニュース》

Vol.15

■拓の会例会予定（10月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

- | | |
|-----|---|
| 第1G | <p>■日 時：10月20日（水）19:00～21:00 ■テーマ：調整中</p> <p>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加 ■話題提供者：ホンダカーズ帯広中央 代表取締役社長 石原 直樹 氏</p> |
| 第2G | <p>■日 時：10月28日（木）19:00～21:00 ■テーマ：最近の若者の傾向～コロナ禍も踏まえて</p> <p>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加 ■話題提供者：帯広畜産大学 教授 渡邊 芳之 氏</p> |
| 第3G | <p>■日 時：10月21日（木）19:00～21:00 ■テーマ：調整中</p> <p>■会 場：調整中 ■話題提供者：調整中</p> |
| 第4G | <p>■日 時：10月13日（水）19:00～21:00 ■テーマ：半年間の振り返り</p> <p>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加 ■話題提供者：参加者全員</p> |

■拓の会例会報告（9月）

<第1グループ>『侃々諤々』グループ 記 録：岡田氏

- 日 時：9月22日（水）19:00～21:00
- 場 所：同友会会議室とZOOM参加
- 参加者：14名
- テーマ：2代目社長の新たなチャレンジ！
- 話題提供者：(株)ざやくし 代表取締役社長 齋藤 博一 氏

【感想・報告】

私の例会前の齋藤社長の印象は、とても破天荒なものでした。彼が、40歳の時、家族4人で世界一周したエピソードを知っていたからです。しかし、多くの学びから踏襲された会社の歴史を聞くことで、その印象は変わりました。それは、当日の9ページにおよぶ資料からも感じられました。同友会のあすなる会での学び、経営理念や10年ビジョンのシートなど、そこからは、社長の探求心と行動力が伝わってきました。

2代目社長の新たなチャレンジは「キャンプレンタル事業」。計画、実行、そして、お客様のフィードバックからの改善と、あたり前の現場主義が儲かる秘訣だとか、そして、つねにお客様の笑顔を目指し、「誰のため?」「何のため?」を求め続ける2代目社長の笑顔を見て、私も元気になりました。

レンタル事業開始から32年、その間に蓄積されたお客様の喜んだ数、様々な可能性に満ち、とても羨ましい宝の山に見えた例会でした。



<第4グループ> 『経営者の財務』グループ 記 録：瀬戸氏

- 日 時：9月8日（水）19:00～21:00
- 場 所：同友会会議室とZOOM参加
- 参加者：9名
- テーマ：内藤生花店のターニングポイントを財務の視点で見る
- 話題提供者：(株)内藤生花店 代表取締役 菅田 光子 氏

【感想・報告】

今年で創業80周年、老舗の内藤生花店4代目社長の菅田さん。現在は本店と藤丸店の2店舗で営業していますが、多い時は5店舗を出店されていたこともあり。その頃の開店資金の借入や在庫、人数などをお聞きし、経済面もそうですが人材のやりくり等、開店することの大変さは計り知れないものだと思います。昔は花嫁修業のお稽古事で花が多く使われた時代は変わり、今は母の日等のイベントや葬儀がお花の出番のようです。これから新たなことにチャレンジするそうでとても楽しみです。相続の話では、植木の松や家具なども相続税の対象になること、税対策で出来る事などもお聞きし参考になりました。雇用の話では高齢者の件。これは古い会社によくある事で頂くばかりでした。難しい問題をコロナ禍で巡ってきたチャンスと捉えご自身の葛藤と2年間も戦って勝った菅田社長は凄い！と感心するばかりのお話でした。

<第2グループ> 『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』グループ 記 録：及川氏

- 日 時：9月28日（木）19:00～21:00
- 場 所：同友会会議室とZOOM参加
- 参加者：11名
- テーマ：ジョブコーチ視点と定着支援を活用した障がい者雇用～障がい者雇用のはじめの一歩②～
- 話題提供者：(株)ちあふる 代表取締役 小関 勝俊 氏

【感想・報告】

7月例会と同じく社会福祉委員会セミナー第2回目と共同開催。ジョブコーチについての説明と作業分解について小関社長より説明を頂いた。今回の学びにより、労働者（健常者・障がい者問わず）に対しての、労働環境の提供・整備に違いは全く無く、『人、（ここでいう一緒に働く仲間）に対して優しくあるためにはどう自分があるべきか?』を常に考え、行動することは間違っていないかと確信できる場となった。

こういった学びの機会において、各々の会社で部下を持ち、教育をする立場にある方達は、是非、参加をして頂いて、どうすれば仕事を覚えるのか?ノビノビと仕事ができるのか?どうすれば組織内の業務が円滑に進むのか?等々の悩みを解決するきっかけにして欲しい。

本例会の内容にあった『作業分解』という考え方を言葉だけでなく難しく思われるかもしれないが、入口は凄くシンプルで『相手を理解する努力をするか否か?』ということと『なんでできないのか?』ではなく『どうやればできるのか?』と切り替えて考えれば、全く難しいものではないので、今後もこういった学びの場があれば積極的に参加したい。



「へ第3グループ」
「とからの魅力を考える会」は、
新型コロナウイルス感染症の影響
を踏まえ、9月例会の開催を見合
わせました。